

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	幸手市の衛生的・快適な暮らしの実現															
計画の期間	平成 2 7 年度 ~ 平成 3 1 年度 (5年間)												重点配分対象の該当			
交付対象	幸手市															
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（ A + B + C + D ）		1,571	A	1,571	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27初期	H29末	H31末
1	事業計画面積1,012 h a の下水道整備達成率を31.6%（H27）から42.0%（H31）に増加させる。			
	下水道（汚水）整備達成率 整備面積累計（ha） / 事業計画面積(1,012ha)	32%	38%	42%
2	事業計画台数4台に対する汚水ポンプ整備率を50%（H27）から100%（H31）に増加させる。			
	ポンプ施設能力 整備台数（台） / 事業計画台数（4台）	50%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	管渠（ 污水）	新設	污水管渠築造工事	管渠整備 L = 11,038m	幸手市	■	■	■	■	■	1,364		-	
	A07-002	下水道	一般	幸手市	直接	幸手市	ポンプ 場	新設	幸手污水中継ポンプ場施 設増設工事	污水ポンプ（8.4m3/min）×2 台	幸手市				■	■	207		-	
											小計							1,571		
											合計							1,571		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

幸手市下水道事業再評価審査委員会設置要綱第2条に基づき、幸手市下水道事業再評価審査委員会ですら事後評価を行う。

事後評価の実施時期

令和2年11月

公表の方法

ホームページによる。

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 下水道整備達成率が31.6% (H27) から38.4% (H31) に増加し良好な環境整備を行うことができた。
- ・ 汚水ポンプ整備率が50% (H27) から100% (H31) に増加したことによって生活環境の改善を行うことができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、次期（令和2年度～令和6年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き公共下水道の整備を行っていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	事業計画面積1,012haの下水道整備達成率を31.6% (H27) から42.0% (H31) に増加させる。		
	最 終 目標値	42%	工事区間において、地質状況の影響や地下埋設物等との調整に時間を要し、計画通りの整備進捗に至らなかった。
	最 終 実績値	38%	
2	事業計画台数4台に対する汚水ポンプ整備率を50% (H27) から100% (H31) に増加させる。		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	

(参考図面) 社会資本総合整備計画

